

湘南東部地区 公・民プラン状況一覧

資料 4

上段 医療機関名 下段 開設者名	現状【病床種別】					現状(2019年) 【令和元年度病床機能報告】①					現状【指定・届出等】					2025年【病床機能】② ※下段は現状との差 (②-①)					機能変更あり	うち過剰な病床機能への転換	うち増床	2025年に向けた対応方針(抜粋)												
	一般病床	療養病床	精神病床	感染症病床	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟(病床)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	高度急性期	急性期	回復期				慢性期	休棟中	介護医療院等	計	今後地域で担う役割等	病床機能の変更予定(増床・減床を含む)	診療科や、その他の機能の変更、見直し等の予定						
藤沢御所見病院	許可病床	38	116			154		38		116		154	○											154	●			地域での医療需要をデータ化、医療提供内容の最適化を図り、職員全員が納得する医療・介護を展開	・2020年度を目途に地域包括ケア病棟(合計56床)への転換を実施予定 ・地ケア病棟では高齢者の一般的救急(高齢者肺炎、誤嚥性肺炎等)も受け入れ予定 ・藤沢湘南台病院、藤沢市民病院との連携を強化し、日常生活圏での医療体制を整えていく。	・2018年中に脳神経内科常勤医を確保し、認知症対策支援の取組み可能 ・2019年中に皮膚科常勤医師を確保し、高齢者の皮膚疾患全体の取組みが強化 ・2020年中に内科及び耳鼻咽喉科常勤医師を確保						
特定医療法人グループ・ブラクティス研究会	稼働病床	38	116			154		38		116		154	告示・輪番											-	△38	+56	△18	-	-	-	2020年度					
藤沢脳神経外科病院	許可病床	55				55		55				55	○											55												
医療法人社団清隆会	稼働病床	55				55		55				55	告示・輪番											-	-	-	-	-	-	-						
クローバーホスピタル	許可病床	137	28			165				106	64	170		○	○	○								106	64			170	●	●						
医療法人篠原湘南クリニック	稼働病床	137	28			165				106	64	170			44床	58床								-	-	-	-	-	-					(1)療養病床3床増床(29年度病床配分) ・2018年9月改修工事着工、11月工事終了(施設基準届出) ・同年12月より、回復期104床(地域包括77病棟44床、回復期11病棟60床)、慢性期64床(療養病棟31床、特殊疾患病棟33床)で稼働 (2)同法人の診療所の非稼働病床2床(一般病床)の移設を検討中		
湘南第一病院	許可病床	94				94		94				94	○											94				94								
嶋村浩市	稼働病床	94				94		94				94	告示・輪番			16床								-	-	-	-	-	-							
湘南長寿園病院	許可病床		180			180					120	120													120	60	180	●								
医療法人社団湘南シルバーサポート	稼働病床		180			180					120	120												-	-	-	-	+60	+60					・介護保険病棟60床を介護医療院に転換予定。 ・2019年春より算定開始を目指す。		
藤沢湘南台病院	許可病床	267	63			330	38	229	33	30		330	○	○	○	○	○	27	240	33	30			27	240	33	30	330								
一般財団法人同友会	稼働病床	267	63			330	38	229	33	30		330	告示・輪番	19床	30床	33床								△11	+11	-	-	-	-							・24時間 急性期医療と専門性を持つ医療の充実 ・法人内及び地域の各施設の連携により地域の方々の医療・保健・福祉を支援 ・高齢者に対する手術と適切な治療、充分なりハビリテーションを積極的に行い住み慣れた地域で生活できるように支援
湘南ホスピタル	許可病床		104			104				44	60	104	○												44	60		104								
医療法人長谷川会	稼働病床		104			104				44	60	104	輪番		37床									-	-	-	-	-	-							療養病棟67床のうち7床を地域包括ケア病床に変更、3階病棟44床をすべて地域包括ケア病床とし病棟単位で施設基準を取得したい。 2019年度中を予定。
湘南中央病院	許可病床	156	43			199		68	88	43		199	○	○	○	○	○							68	88	43		199								
医療法人社団若林会	稼働病床	156	43			199		68	88	43		199	告示・輪番	16床	52床	36床								-	-	-	-	-	-							将来的な高齢者の増加等を鑑み、近隣等に用地が確保できるなら、少なくとも更に50床の増床を検討する必要性がある(回復期リハ病棟90床あるいは地域包括ケア病棟100床にし、回復期病床の充足整備)。但し、現在増床を可能とする場所は無い。

上段 医療機関名 下段 開設者名	現状【病床種別】					現状(2019年) 【令和元年度病床機能報告】①					現状【指定・届出等】					2025年【病床機能】② ※下段は現状との差 (②-①)					機能変更あり	うち過剰な病床機能への転換	うち増床	2025年に向けた対応方針(抜粋)							
	一般病床	療養病床	精神病床	感染症病床	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	救急病院	緩和ケア病床	地域包括ケア病床(病床)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	高度急性期	急性期	回復期				慢性期	休棟中	介護医療院等	計	今後地域で担う役割等	病床機能の変更予定(増床・減床を含む)	診療科や、その他の機能の変更、見直し等の予定	
湘南太平台病院	許可病床	38	44			82					82	○					○			22	60			82	●			今後地域における回復期機能を担う	2020~21年に、地域に不足する回復期機能を提供するため、回復期(地域包括ケア病棟)に変更予定。		
医療法人社団正拓会	稼働病床	38	44			82					82	輪番						-	-	+22	△22	-	-	-							
山内病院	許可病床	91				91		38			53	○					○			23	23	53		99	●	●	地域に果たしている内科急性期入院患者と障害者入院患者の病床を確保したうえで、それ以外の病床(回復機能)を持つことにより、地域の急性期病床の受け皿病院として連携に貢献していく。	地域に必要とされる回復期機能を提供するために一般病床を8床増床、23床を地域包括ケア病床に転換。 ・2019.3月 新棟完成(補助金活用) ・2019.5月 地域包括ケア病床稼働	地域包括ケア病床稼働に伴い、整形外科におけるリハビリテーションを充実させる。		
医療法人山内龍馬財団	稼働病床	91				91		38			53	告示・輪番						-	△15	+23	-	-	-	+8		●	●	配分済8床			
湘南藤沢徳洲会病院	許可病床	419				419	138	281				○						147	272					419	●	●	・減少が予想される年少・生産年齢人口、2025年以降も増加が予想される65歳以上の人口、さらに、全国平均を大きく上回る介護の需要予測指数、これらを踏まえながら循環器、呼吸器、救急の受入の強化が必要と考えています。 ・また県内の他の医療圏と比べ小児科病床数が少ない当医療圏では、これまで以上に小児科の機能充実が必要と考えられます。合わせて、病児保育、病後児保育の機能、ならびに小児レスパイトケアの機能への取り組みも必要と考えます。	・昨年のプラン提出から一部病床機能の変更を実施(2019年7月1日付け)。HCU13床をICU12床へ変更したことにより、現在の病床機能区分は高度急性期138床、急性期281床となっている。 ・現在、ICUからの転棟先は一般病棟のみとなっており、病棟スタッフにも集中的・専門的なケアが求められることがある。医療安全、スタッフの業務軽減のため、ステップダウンユニットとしてHCU(最大9床程度)の設置が必要と考えており、変更時期は2020年度を予定しているが、看護師等スタッフの確保により時期は多少前後することがあり得る。			
医療法人徳洲会	稼働病床	419				419	138	281				告示・輪番						+9	△9					-							
湘南慶育病院	許可病床	30	200			230		30	150	50		○							30	150	50			230			地域医療から回復期リハビリテーション、慢性期医療に至るシームレスな医療を提供する。				
医療法人社団健育会	稼働病床	30	200			230		30	150	50		告示	50床	100床				-	-	-	-	-	-	-	-						
茅ヶ崎新北陵病院	許可病床	180	109			289				58	231									0	44	108		152	●	●	・湘南東部医療圏の北部地域(茅ヶ崎北部、寒川、藤沢西部)には、多くの特養、老健が設置されている(約10箇所) ・自院の運営する居宅介護支援事業、訪問看護、訪問介護、訪問リハビリ等の在宅サービスをさらに充実させて、地域包括ケアシステムの中で、医療と介護の両サービスをシームレスに提供するために、在宅の後方支援として、回復期機能の病床を活用する。 ・精神病床を有することにより、今後ますます増加する認知症の高齢者を受け入れるとともに、合併症への対応を転院することなく、自施設内で完結できるように医療レベルの向上を目指す。 ・慢性期病床においては、急性期医療機関との連携をより一層図り、ポストアキュートとして、地域における後方病院としての役割も担う。	・茅ヶ崎中央病院の老朽化に伴う、建て替え工事により、I期工事完了予定である2020年2月には工事開始前の276床へ減床(茅ヶ崎中央病院から移設した一般病床13床を返還)。 ・II期工事完了予定の2022年2月に一般病床124床を茅ヶ崎中央病院へ移設し152床へ減床。 ・茅ヶ崎新北陵病院内の改修工事を経て、湘南さくら病院(精神単科病院)より精神病床156床を移設(湘南さくら病院は廃止)(2022年中) ・一般病床44床を活用して、どの施設基準を取得するかは未定であるが、上記のように、サブアキュートに積極的に対応していく。	・従来から拡充する診療科:消化器科、循環器科 ・従来から拡充する機能:2019年度にCT及び検査機器は更新済み、MRIは設置予定 ・回復期機能の施設基準については、未定。 ・病床数に減少はあるが、療養病床にて、慢性期の機能は維持する。(理由、予定時期については、上記のごとく)		
医療法人社団康心会	稼働病床	180	109			289				58	231			58床				-	-	△14	△123	-	-	△137		●	●	2019年度~			

上段 医療機関名 下段 開設者名	現状【病床種別】					現状(2019年) 【令和元年度病床機能報告】①					現状【指定・届出等】					2025年【病床機能】② ※下段は現状との差 (②-①)					機能変更あり	うち過剰な病床機能への転換	うち増床	2025年に向けた対応方針(抜粋)					
	一般病床	療養病床	精神病床	感染症病床	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	救急病院	緩和ケア病床	地域包括ケア病床(病床)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	高度急性期	急性期	回復期				慢性期	休棟中	介護医療院等	計	今後地域で担う役割等	病床機能の変更予定(増床・減床を含む)
茅ヶ崎中央病院	許可病床	66				66	66				66								104	100	120		324	●	●	●	<p>・眼科については、湘南東部医療圏内の診療機関との連携を強化し、紹介患者を中心に検査・診断・治療(従来からの白内障手術他に今後緑内障の手術も含め)を行う。</p> <p>・耳鼻咽喉科については、「聴覚・人工内耳センター」として、補聴器外来の拡充等、従来の機能を充実させて、先天性の乳幼児から高齢者までの高度感音難聴に対して、人工内耳手術を含めた治療とその後のSTによるリハビリも実施する。また、従前どおり耳鼻咽喉科全般の治療も行う。</p> <p>・救急告示病院を再度取得し、茅ヶ崎市の市街化区域の中心にある立地を生かし、茅ヶ崎市立病院、湘南東部総合病院とも連携を取りながら、同市の救急医療の充実に貢献する。また、災害医療にも対応するため救急医療を充実させる。</p> <p>・「サイバーナイフ」を設置し、サイバーナイフが未設置の県西部の医療圏の患者の利便性にも資する。</p> <p>・3D-Cアームとリアルタイムナビゲーションシステムの導入により、脊椎・脊椎系の高リスクの手術を脳神経外科専門医のもと行い、術後リハビリも自施設で対応する。</p> <p>・健診部門との一体的な運営により、受診者の利便性を充実させる。「PET-CT」を最新機器に更新して、癌の早期発見ができる環境を整備し、圏内患者の「未病改善」に貢献する。</p>	<p>・現在、病院建替え工事中 許可病床66床(一般66床)、稼働病床48床(休床18床)</p> <p>(スケジュール)</p> <p>・2020年早春 第一期工事終了 100床(一般急性期96床、ICU4床)へ増床予定</p> <p>・2022年2月 第二期工事終了 324床(一般急性期100床、ICU4床、回復期100床、障害者120床)へ増床予定(茅ヶ崎新北陵病院より一般124床を移設。新規病床配分として療養病床100床)</p>	<p>【2020年早春に拡充する診療科と機能】</p> <p>①消化器：健診部門との連携により、内視鏡検査を増加させ癌の早期発見に努め、内視鏡下での治療にも積極的に取り組む。</p> <p>②循環器：高齢化により急増していく心疾患に対応していく。最新のDSAを導入し、カテーテル治療にも対応していく。</p> <p>③整形外科：交通外傷や高齢者の転倒による骨折の他に、脊椎脊髄等の手術にも対応していく。</p> <p>・脳神経外科：サイバーナイフを活用した脳腫瘍手術、頭痛・認知症等に対する一般的な治療、MRIを用いた脳ドック等への積極的な取り組み</p> <p>・呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科：従来からの総合診療、透析、糖尿病疾患等への診療の幅を広げて、各領域の診断・治療の充実を図る。</p>
医療法人社団 康心会	稼働病床	48				48	48		18	66								-	+38	+100	+120	-	-	+258	2018年度～ 現在工事中	配分済 100床 移動 158床			
湘南東部総合病院	許可病床	264	40	44		348	248	40	12	300	○	○						214	40	29		283	●	●		<p>・急性期から緩和医療までの医療を担う総合病院として、単なる総合病院でなく専門性の高い診療科を有する病院を構築したい。すなわち、湘南地区で発病した脳疾患、心疾患、呼吸器疾患等の患者さんを救急センターで受け入れて診察し、その専門性の高い診療科で診断から治療まで行う、いわゆる地域完結型総合医療を目指します。</p> <p>・患者さんは自分の居住地域で十分な医療を受けることができる。そして、その後、在宅医療への展開など、地域に密接に関連した役割を担ってまいります。</p>	<p>・2020年3月 21床減床 当グループ茅ヶ崎中央病院立替え工事に伴い病床移動していた21床分を開設に伴い返還する。</p> <p>・71床(急性期)の増床 病床配分があった場合には71床を予定している。</p>	<p>・肝臓専門医に加えて、後期研修医、肝臓専門医1名を招聘し、肝臓病センターとして診断と治療、外来通院を一本化した診療科を目指す。臨床研究のため研修を、専門病院として高レベルの診療を行うためにFibroscanや脂肪測定CAPを搭載した超音波機器の導入(2年間で償還)とそれらを駆使できる専門医が認定する検査技師を肝臓病センター特別枠として採用する。これからはウイルス肝炎の僕別とともに肝細胞がんの薬物治療の時代となるため、より画像診断、化学療法Professionalが必要で、神奈川県では突出した診療科を作ること容易である。さらに、公益財団法人ウイルス研究財団の後押しも可能であり、他施設とは異なるユニークな診療科を構築することができる。</p> <p>・脳神経センターとして脳外科及び脳神経内科の体制を充実させることで脳卒中(t-PA治療)等への対応できる体制の見直しを予定(2019年度以降)</p> <p>・心臓血管外科スタッフの加入に伴い、グループ内心臓専門病院と当院の循環器内科との連携により、質の高い循環器及び心臓疾患の治療を予定している(2019年度以降)</p>	
医療法人社団 康心会	稼働病床	264	40	44		348	248	40	12	300	告示	32床		40床				-	△34	-	+17	-	-	△17	2019年度～				

上段 医療機関名 下段 開設者名	現状【病床種別】					現状(2019年) 【令和元年度病床機能報告】①					現状【指定・届出等】					2025年【病床機能】② ※下段は現状との差 (②-①)					機能変更あり	うち過剰な病床機能への転換	うち増床	2025年に向けた対応方針(抜粋)							
	一般病床	療養病床	精神病床	感染症病床	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	救急病院	緩和ケア病床	地域包括ケア病床(病床)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	高度急性期	急性期	回復期				慢性期	休棟中	介護医療院等	計	今後地域で担う役割等	病床機能の変更予定(増床・減床を含む)	診療科や、その他の機能の変更、見直し等の予定	
長岡病院	許可病床		222			222					222					○								162	56	218	●		・安心して過ごせる看取りの環境 ・レスパイトや緊急入院の受け入れ等による在宅医療のバックアップ	○移転に合わせ、介護療養病床から介護医療院への転換(2022年5~6月頃) ○併せて、療養病床4床返上予定	
特定医療法人社団 湘南健友会	稼働病床		222			222					222							-	-	-	△60	-	+56	△4		2022年度					
茅ヶ崎徳洲会病院	許可病床	132				132					132	○				○			124	8						●		急性期医療・回復期・在宅療養の切れ目のない医療を展開出来る体制を確立し、超急性期からの受け入れも積極的に行い、総合的な診療、認知症対策、予防医療、地域連携、行政や医師会との連携強化を含む地域包括ケアシステムの中心的な役割を担う	急性期から回復期・慢性期・在宅と切れ目のない医療を展開するためにも、現在の病床に加え慢性期の病床を40床程度増床したい		
医療法人徳洲会	稼働病床	132				132				132	告示		8床					-	△8	+8	-	-	-	-		時期未定					
寒川病院	許可病床	99				99					99	○				○			99									引き続き、連携を強化し、ポストアキュート、サブアキュートを担う病院を目指す。 医療と介護の連携拠点となる。			
宗教法人寒川神社	稼働病床	99				99					99	告示		19床				-	-	-	-	-	-	-							
湘南東部 民間 計	許可病床	2,066	1,149	44	0	3,259	176	1,378	519	1,083	0	3,156	13	3	9	6	7	2	174	1,323	714	997	0	116	3,324						
	稼働病床	2,048	1,149	44	0	3,241	176	1,360	519	1,083	18	3,156		67床	286床	325床			△2	△55	+195	△86	-	+116	+168						

公的医療機関																																
医療機関名	開設者名	一般病床	療養病床	精神病床	感染症病床	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	救急病院	緩和ケア病床	地域包括ケア病床(病床)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	介護医療院等	計	機能変更あり	うち過剰な病床機能への転換	うち増床	今後地域で担う役割等	病床機能の変更予定(増床・減床を含む)	診療科や、その他の機能の変更、見直し等の予定	
藤沢市民病院	許可病床	530			6	536	315	215				530	○							460	70					●		・救命救急センターや地域がん診療連携拠点病院などの医療機能を最大限に活かし、高度急性期・急性期医療を担う地域の基幹病院としての役割を今後も継続 ・地域医療機関との機能分担及び連携をさらに進め、状態の安定した患者については退院支援を図り、切れ目のない医療提供体制を築いていく				
藤沢市	稼働病床	530			6	536	315	215				530	救命救急C告示						+145	△145	-	-	-	-		時期未定						
茅ヶ崎市立病院	許可病床	401				401	7	339			55	401	○					○	7	394								・地域の基幹病院として急性期医療を担ってきた。この先も急性期病院としての役割を果たすことが期待されていると判断している。 ・救急患者の受入体制を整えるため、救急医療部門の拡張を進め、救急診療室の増設、観察室の拡張、救急専門医師の配置、消防との連携による救急ワークステーションの設置を目指している。	・2017~2018年度：別棟建設工事着手(2019~2020年度に別棟完成) ・2019~2020年度：本館内改修工事着手(内視鏡室の拡充、救急医療の充実のため) ・2021~2023年度：工事終了 ・口腔外科や形成外科の開設を目指し、患者の利便性を高める			
茅ヶ崎市	稼働病床	401				401	7	339			55	401	告示						-	+55	-	-	△55	-	-							
湘南東部 民間・公的 合計	許可病床	2,997	1,149	44	6	4,196	498	1,932	519	1,083	55	4,087	15	3	9	6	7	3	641	1,787	714	997	0	116	4,255							
	稼働病床	2,979	1,149	44	6	4,178								3床	9床	6床			+143	△145	+195	△86	###	+116	+168							